

歴史的景観都市シンポジウム

『伝統のまちなみを明日に活かす』

平成十年二月二十四日、市内尾張町の寿屋で『伝統のまちなみを明日に活かす』と題してシンポジウムが催され、定員を上回る約七十名が参加しました。東京大学名誉教授の内田祥哉氏による『保存か再生か』と題した基調講演の後、『伝統建築を今に活かす』をテーマにパネルディスカッションが行われ、活発な議論が集まった聴衆は熱心に聞き入っていました。

基調講演

『保存か再生か』

内田祥哉氏から、『世界で貴重な木造建築をスロー・ライフで多く紹介した。世界各国に、それぞれの地域の貴重な歴史としてそれを大切に受け継いでいる』と、現代の社会でも立派な議論が集まった聴衆は熱心に聞き入っていました。

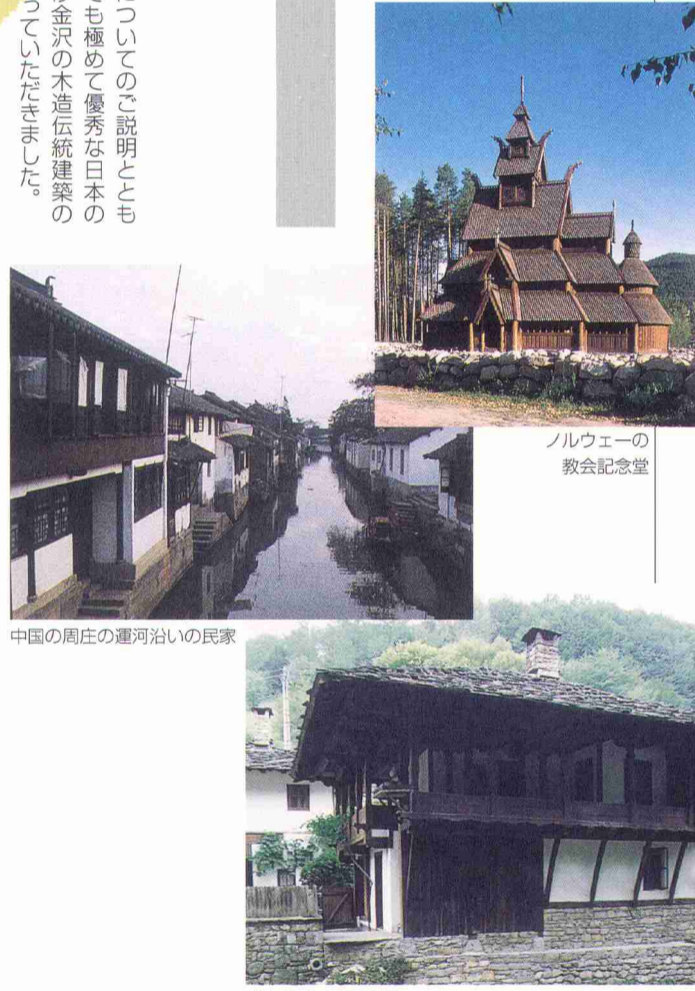
パネルディスカッション

伝統建築の魅力

坂本英之氏から、『伝統建築への関心が高まっている。世界で貴重な木造建築をスロー・ライフで多く紹介した。世界各国に、それぞれの地域の貴重な歴史としてそれを大切に受け継いでいる』と、現代の社会でも立派な議論が集まった聴衆は熱心に聞き入っていました。

『伝統建築を今に活かす』

千代芳子氏から、『伝統建築を今に活かす』と題してシンポジウムが催され、定員を上回る約七十名が参加しました。東京大学名誉教授の内田祥哉氏による『保存か再生か』と題した基調講演の後、『伝統建築を今に活かす』をテーマにパネルディスカッションが行われ、活発な議論が集まった聴衆は熱心に聞き入っていました。



ノルウェーの教会記念堂

中国の周庄の運河沿いの民家

ブルガリアの民家園

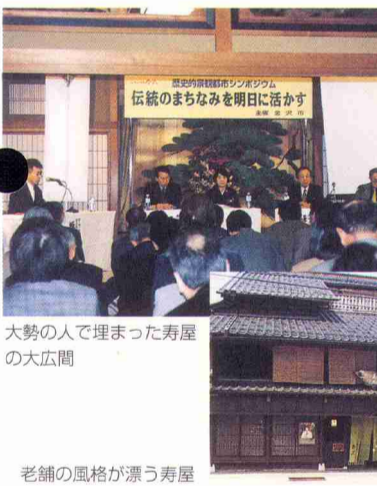


坂本英之氏 (金沢工芸美術大学助教授)
長井正之氏 (寿屋2代目主人、平成6年度尾張町再生工事を執行)
千代芳子氏 (尾張町生活文化を全国に紹介)
降幡廣信氏 (降幡建築設計事務所所長、民家の再生事例多数、尾張町再生工事を共同設計)
内田祥哉氏 (日本学術会議会員、金沢美術工芸大学名誉教授、元日本建築学会会長)

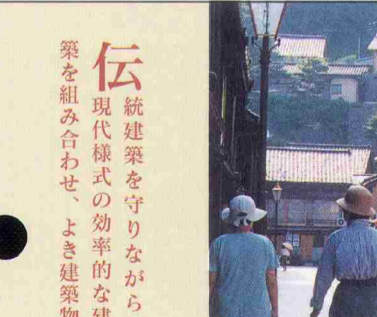
伝統建築の再生に伴う課題

坂本 伝統建築の再生に伴う課題についてお聞きします。

千代 伝統建築の再生は、単に古いものを復元するだけでなく、その歴史や文化を伝えることが重要です。また、現代の生活様式に合わせて、機能性を高める必要があります。



大勢の人で埋まった寿屋の広大間



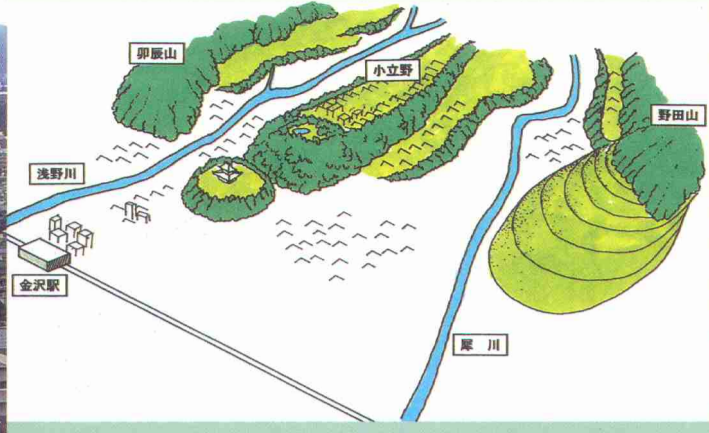
老舗の風情が漂う寿屋

Advertisement for the symposium. Title: 『伝統建築を明日に活かすために わたしの金沢』. Subtitle: 『シンポジウム参加者アンケートより』. Content: 観 光客はもとより市民が散策したくなるような面的な保存をのみならず、単なる点ではだめだと思えます。 (発言者 30代・男性) 現在のひがし茶屋街や長町武家屋敷を歩くとき、「通りすぎた街」というイメージで通り入ります。もう一度、臨道に入ります。まだ生きたまなみが残っています。 (発言者 30代・女性) ひがし茶屋街などは、伝統建築を現代風に再生してあり、何だかよい建物です。そのおかげで、まちなみをとんとん残し、新しく生き返らせたいと思っています。 (発言者 30代・女性) 街 中に取り壊した跡の敷地が、駐車場になって、備の抜けようになっています。その敷地を移動して、まじりのある空間のまちなみにし、日本流の広場を設けて、旧市街地全体の設計をしてほしいと思います。 (発言者 50代・男性) 再 活用の思いを実現するためには、費用、技術面でのバックアップがせひ必要だと思えます。文化財以外の建築物も意識しなければ、まじりにならないと思います。 (発言者 30代・男性)

緑文化遺産

斜面緑地を次世代へ

金沢のまちの背景に広がる緑豊かな斜面の景観は、まちの大きな魅力となっています。また、都市環境を良好に保つためにも斜面緑地は重要な存在です。この斜面緑地の保全のため、平成九年四月「金沢市斜面緑地保全条例」が制定されました。市民と市が協力して、この「緑の文化遺産」を次世代へ残していきたいです。



野田山、小立野、野田山、尾川、金沢駅

森の都・金沢

金沢は「森の都」と紹介されます。それは、まちのいたるところに、潤いのある緑が広がっているからです。確かに、昔ながらの街並みの中を歩いていると、旧家の垣根に緑がのびたり、川や用水路に柳の木などが植えられている風景によく出会います。しかし、これらの身近な緑も、もつとまろまろと見えてくるのは、まちの背後にある丘陵や台地の緑ではないでしょうか。また、この丘陵や台地の緑が、起伏に富んだ地形として、金沢のまちの風景を特徴づけています。

斜面緑地の果たす役割

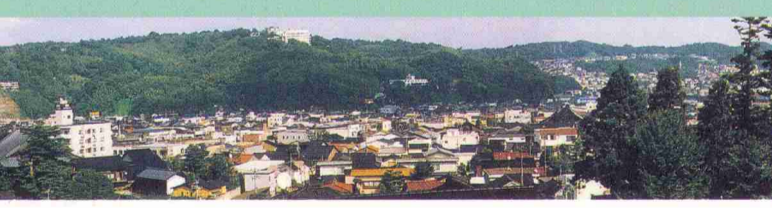
この斜面緑地は、主に四つの役割を担っています。

(1) 都市景観

丘陵地の斜面緑地は、背景の緑として金沢のまちを包みこむように、まちを縁取ることに、その広がりや際立って見えます。他方、河原段丘として形成された斜面緑地は、まちに陰影を与えるひととなり、金沢のまちを特徴づけています。そして、これらの斜面緑地が、歴史的な街並みのたたずまいと一体になって、金沢の魅力を一層引き出しています。

失われつつある貴重な緑

このように斜面緑地は、いろいろな重要な役割を担っているのですが、近年、その存在が危機的な状況になってきています。このように斜面緑地は、以前は、このような場所に家を建てることはあまりなかったのですが、土木技術の発達や地面の高騰などにより、まちに近接しているところでは、斜面の開発が進むようになり、貴重な緑が失われつつあります。



また、これらの役割のほかに、卯辰山や野田山まわりの身近な公園として整備が進んでおり、市民生活に安心できる斜面緑地は市民生活に欠かせないものになってきています。

斜面緑地を守るためには

これらの斜面緑地は、そのほとんどが個人の所有する土地であるため、これまで、主に都市計画上の風致地区という制度で保護されてきました。また、身近な自然環境を保護して、また、まちの自然環境を保護して、この制度によっても、宅地開発圧力への対応や緑の維持を求め、比較的弱い対応や緑の維持が充分に図られていません。斜面の緑を守るためには、これまで以上に積極的な取り組みが必要になってきています。



また、斜面緑地の保全には、所有者の理解と協力が不可欠ですが、斜面緑地の保全の重要性をみながら、みんなで守る協力することが望まれます。斜面緑地の保全をすすめることが、美しく、個性豊かな金沢の魅力を際立たせることにつながることを願っています。



緑には、空気をきれいにし、気温や湿度を調節するなど、私たちの暮らしに大切な役割があります。また、目に見える緑は、人々の心に安らぎを与え、四季の彩りにより人々の感性を一層豊かにしてくれます。

また、斜面緑地の保全には、所有者の理解と協力が不可欠ですが、斜面緑地の保全の重要性をみながら、みんなで守る協力することが望まれます。斜面緑地の保全をすすめることが、美しく、個性豊かな金沢の魅力を際立たせることにつながることを願っています。

また、斜面緑地の保全には、所有者の理解と協力が不可欠ですが、斜面緑地の保全の重要性をみながら、みんなで守る協力することが望まれます。斜面緑地の保全をすすめることが、美しく、個性豊かな金沢の魅力を際立たせることにつながることを願っています。



また、斜面緑地の保全には、所有者の理解と協力が不可欠ですが、斜面緑地の保全の重要性をみながら、みんなで守る協力することが望まれます。斜面緑地の保全をすすめることが、美しく、個性豊かな金沢の魅力を際立たせることにつながることを願っています。

Advertisement for 'Town Stories' (町の物語). Title: 『町の物語』 を読もう. Content: たまたま用事があって、東京とか大阪の街を歩くと、東京と比べて、金沢は新しい出来た都市だけれども、人口はいえ、四十万、五十万では金沢と同じくらいだ。 (発言者 30代・女性) 千代 芳子 (せんだい よしこ) 随筆家 ●83年『女の心仕事』(文化出版局刊)により、第11回泉鏡花記念金沢市民文学賞を受賞。習俗としての生活文化を独自の視点から探求し、執筆している。金沢市文化財保護審議会委員、金沢市都市景観審議会委員。